

「2019年マイナビ 大学生低学年のキャリア意識調査」を発表 ～大学1・2年生の5人に1人がインターンシップデビュー済み～

株式会社マイナビ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川信行)は、「2019年マイナビ 大学生低学年のキャリア意識調査」の結果を発表しました。本調査は、大学1、2年生の男女1,164名に、現時点で考える仕事や就職活動に関して調査したものです。今回で2回目となります。

TOPICS

仕事を考える上で受けてみたいものの1位は「インターンシップ(59.7%)」。
“現場での経験”を踏まえて仕事を選びたい学生が多い結果に(図1)

5人に1人がすでにインターンシップデビュー済み。
8割近くの学生が、今後のインターンシップ参加に意欲的(図2)

図1 / 仕事に関して考える上で受けてみたいもの(複数回答)

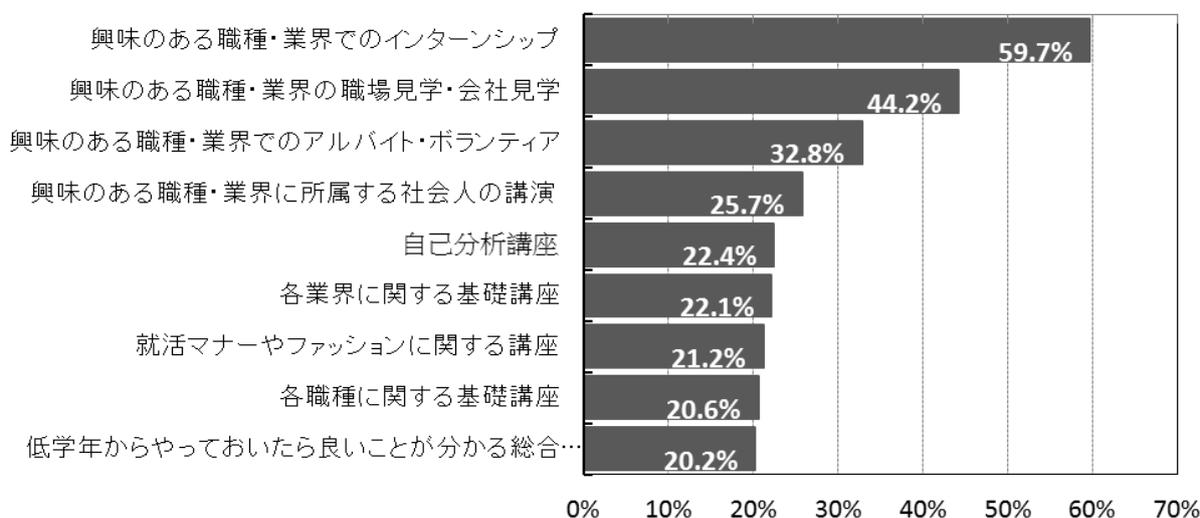
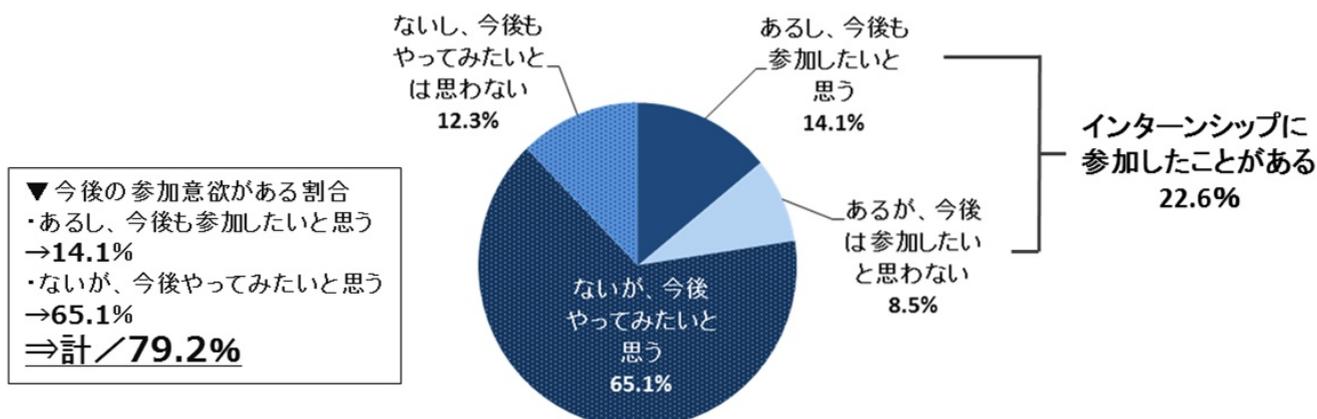


図2 / インターンシップ経験の有無と今後の参加意欲



SUMMARY

昨年実施の調査¹では就職活動生（主に大学3年生）のインターンシップへの参加率が72.8%という結果で、ここ数年、業界・企業研究やインターンシップへ就職活動生は積極的に参加する傾向にありますが、今回の調査で低学年（大学1、2年生）においても、インターンシップに対する注目が高まってきていることがわかります。

図1の「興味のある職種・業界でのインターンシップ」への参加を希望する割合（59.7%）は、前年調査²と比較すると15.2ptの大幅増となりました。図2の「インターンシップに参加したことがある割合（22.6%）」についても、前年調査と比較して5.8pt増加しています。

これらのことから、就職活動直前の学生ばかりでなく、低学年の学生にとっても、将来のキャリアを考える方法のひとつとして、インターンシップの存在は強く認識されつつあります。学生にとって仕事現場を体験することは、後々企業とのマッチングを叶える上で重要な取り組みになるといえるでしょう。

株式会社マイナビ 社長室 リサーチ&マーケティング部 小林

1 調査：2018年11月13日（火）発表「2018年度マイナビ 大学生インターンシップ調査」

2 前年調査：2018年3月26日（月）発表「2018年マイナビ 大学生低学年のキャリア意識調査」

【調査概要】『2019年マイナビ 大学生低学年のキャリア意識調査』

調査期間：2019年2月22日（金）～2月25日（月）

調査方法：18歳～20歳の大学1,2年生を対象にWEB調査を実施
（アンケートモニター提供元：GMOリサーチ株式会社）

有効回答数：1,164名（内訳：文系男子283名 理系男子287名 文系女子297名 理系女子297名）

調査結果の詳細は「マイナビ採用サポネット（<https://saponet.mynavi.jp/>）」でも公開しています。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 リサーチ&マーケティング部
Tel：03-6267-4571 Fax：03-6267-4145
Email：myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 広報部
Tel：03-6267-4155 Fax：03-6267-4050
Email：koho@mynavi.jp